

令和四年新年のごあいさつ



城里町長
上遠野 修

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、皆さまからの力強いご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルスが猛威を振るう一年でした。特に、6月から9月にかけて過去最大の感染拡大となった第5波は、茨城県においても1万5千人近い感染者を出すことになりました。しかし、城里町においてはわずか17人の感染にとどまり、県内の市町村で最も少ない感染者数で第5波を乗り切ることができました。城里町では、昨年に全戸配布されたばかりの防災行政無線「戸別受信機」などで情報提供をしながら、円滑なワクチン接種に取り組ましました。その結果、ワクチン接種

のスピードは常に県内トップグループを走り続け、接種率についても県内2位を誇る高さとなりました。町民の皆さまの徹底した感染予防やワクチン接種へのご協力に心より感謝を申し上げます。

一方で、昨年は公共施設の整備についても順調に進めることができました。特に、30年に一度の大事業である環境センタールの新築工事が完了したことで、城里町が合併時に計画した主要施設の整備を終えたこととなります。そのうえで、将来負担比率(町の実質的な借金の大きさ)が下がるなど、町の財政は健全化の方向にあります。また、住宅の新規建設戸数も3年連続で増加の見込みであり、未来への明るい兆しも見えています。

そこで今こそ、コロナ禍の終息後を見据えて、未来志向の積極的な政策展開をすべきときであると考えます。住みよい城里町の実現に向けて、決意を新たに致しますとともに、町民の皆さまの新年のご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



城里町議会議員
関 誠 一 郎

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

年頭に当たり城里町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。さて、我が国は、人口減少、少子高齢化が進んでおります。これは我が町も例外ではなく、より速く進んでおり、行政サービスに影響が生じることは容易に想定されます。今後、これらへの対応はもとより、インフラ維持更新の負担増、自然災害や感染症への対策、さらにはデジタル化への取り組みやカーボンニュートラルなど、時代に応じた課題への取り組みも必要です。

このようななか、議会と議員が果

たすべき役割、責務の重要性は益々増大してきています。議会の役割は予算の議決のみならず、行政の監視や政策提言により、町民皆さまの声を行政に反映させなければなりません。

町議会としましては、これらのことを念頭に執行部と互いに切磋琢磨を続け、皆さんが快適に暮らせるまちづくりの実現に向け努力していく所存でございます。

また、本年2月20日には町議会議員の任期満了にともなう議員選挙がございます。4年に1度の選挙は議員に与えられた大きな試練であると同時に有権者の皆さまの権利です。この機会を有効に活かし町民の皆さまが身近に感じられる議会、活力ある議会を目指し、より一層努力してまいりますので、町民皆さま方からの幅広いご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆さま方から申し上げますご繁栄とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。